年　　　　月　　　　日

202５年度 同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト

志望理由及び研究計画書（欠員補充）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **所　　属** |  | **氏　　名** |  |
| **研究テーマ****（日英併記）** | **（日）****（英）** |

**１．【志望理由】**※半頁以内。

本プロジェクトは、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援することを目的としています。自身が目指す研究者像を明確にし、それに向けて本プロジェクトをどの様に活かすのか、どの様に取り組むのか、といった視点から志望理由について簡潔に記入してください。

**研究計画調書作成に当たって留意すること**

**○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること**

留意事項：

*1. 作成に当たっては、「202５同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト支援対象学生　募集要項」を必ず確認すること。*

*2. 本文は10.5ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。*

*3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。*

*4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。*

**○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること**

**２．【海外活動計画】**※半頁以内。

　本プロジェクトでは、研究者としての挑戦性、自立精神を醸成することを目的として、自らの研究課題を海外でどのように発展させるかという海外活動計画を提案していただきます。自身の研究が国際的な研究動向において、どの様な位置付けなのか、その上で自らの研究を発展させるために、どの様な国際的な活動を行っていくかについて具体的に記入してください。

**３．【研究計画】**※以下の⓵～④について、わかりやすく、簡潔に記入してください。2頁以内。

1. これまでの研究状況、自身が取り組む研究の位置づけ、当該分野の状況や課題等の背景
2. 研究計画における研究目的、研究方法、研究内容（支給される研究費をどの様に利用し、研究の発展を図るのか）
3. 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）
4. 社会課題を解決するアプローチについての構想：社会課題を解決する上で、自己の研究がどの様に活かせるの